

○タイトル 『千葉観光課4 加曾利貝塚』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他（外人達）

○あらすじ

千葉県は外国人の観光客の少なさに悩んでいた。そこで外国人向け観光を専門とする『観光課』に県は任せるが、観光課は一番若い田宮に「加曾利貝塚にもっと観光客を増やす案」を任せる。アドバイザーのボブと一緒に考える事に。ボブは「あっと驚くイベントがいいね」と言い、田宮は「それならいっそ、ホラーアトラクションにしよう！」と言う。加曾

利貝塚でホラーアトラクション！？果たして  
外人ウケするのかな？！

シーンロ…観光課のオフィス

（オフィスの一角、田宮がデスクに座り、資  
料を見ながら頭を抱えている。ボブが入って  
くる。）

ボブ…タミヤ、元気ないね。どうしたの？

田宮…ボブさん、実は、加曾利貝塚にもっと  
観光客を呼び込む案を考えないといけないん  
です。でも、何も思いつかなくて…。

ボブ…（笑顔で）あっと驚くイベントがいいん  
じゃない？

田宮…（ふと閃いて）それなら、ホラーアトラ  
クションにしよう！

ボブ…(驚いて) ホラー！？加曾利貝塚で？

田宮…ええ、古代の遺跡ですから、幽霊とか出る感じにして、夜のツアーを開催するんです！

ボブ…(興奮して) いいね、それ！外国人も絶対に楽しむよ！

シーン…加曾利貝塚

(夜、加曾利貝塚にホラーアトラクションの準備が整えられている。お化けの衣装を着たスタッフがあちこちにいます。)

田宮…(マイクで案内) 皆さん、ようこそ加曾利貝塚ホラーツアーへ！古代の魂が眠るこの地で、恐怖の体験をお楽しみください！

(外国人観光客たちが興奮しながらツアーに参加する。)

観光客「…うわー！これはすごい！

観光客「…こんな古代の遺跡で、こんなことが  
できるなんて！

（ツアーが進むにつれて、スタッフが次々と  
観光客を驚かす。歓声と笑い声が響く。）

シーン…ツアー終了後

（ツアーが終わり、観光客たちが大満足で帰  
る。）

観光客「…最高だった！友達にも教えな  
きや！

観光客「…こんなに楽しい旅行は初めてだ！

（田宮とボブが観光客を見送りながら。）

ボブ…（笑顔で）見たかい？大成功だね！

田宮…（ほっとした表情で）はい、これで観光客も増えるといいですね。

ボブ…タミヤ、君のアイデアは本当に素晴らしかったよ。「面白ければそれでよし！」ってね。

田宮…（照れくさそうに）ありがとうございます。でも、次はもう少し普通の案にしたいです…。

ボブ…（笑って）まあ、普通も面白い次第だよ！

（エンドロールと共に、加曾利貝塚のホラーアトラクションの成功を示す映像が流れる。）

フィナーレ

（観光課のオフィス。田宮とボブが次のプロ

ジェクトについて話し合っている。）

田宮…次は何にしましょうかね、ボブさん。

ボブ…（ウィンクして）それは秘密さ。でも、  
次もきっと面白いことになるよ！

田宮…（笑顔で）そうですね。楽しみにしています！

（画面がフェードアウトし、エンドクレジットが流れる。）

終わり